



平成30年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月2日

上場会社名 株式会社オークワ 上場取引所 東
 コード番号 8217 URL <http://www.okuwa.net>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神吉 康成
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員管理本部長 (氏名) 森川 昌幸 (TEL) 073 (425) 2481
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月2日 配当支払開始予定日 平成29年10月24日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績(平成29年2月21日～平成29年8月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	132,930	△0.1	391	△59.0	549	△51.2	911	0.7
29年2月期第2四半期	133,036	△0.9	954	△11.9	1,125	△5.9	905	35.7

(注) 包括利益 30年2月期第2四半期 401百万円(△62.5%) 29年2月期第2四半期 1,071百万円(△27.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	20.42	20.42
29年2月期第2四半期	20.28	20.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第2四半期	142,911	77,906	54.5
29年2月期	139,297	78,085	56.0

(参考) 自己資本 30年2月期第2四半期 77,863百万円 29年2月期 78,051百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	13.00	—	13.00	26.00
30年2月期	—	13.00	—	—	—
30年2月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年2月21日～平成30年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	0.4	2,900	△4.9	3,150	△2.3	1,500	1.6	33.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料8ページ「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年2月期2Q	45,237,297株	29年2月期	45,237,297株
30年2月期2Q	615,509株	29年2月期	607,384株
30年2月期2Q	44,625,540株	29年2月期2Q	44,643,435株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や設備投資の改善、個人消費の持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調が続いております。

小売業界におきましては、依然として業種・業態を越えた競争激化、競合店との価格競争も継続し、環境は一段と厳しさを増しており、人手不足も深刻な状況となっております。

このような状況下において、当社は年度スローガンを『業務改革と働き方改革で現場力を高め、多様化するお客様ニーズへの対応に全力を尽くそう』といたしました。

このスローガンのもと、岐阜県安八郡安八町に惣菜工場の「オーデリカファクトリー安八」を新設し、東海地方に合った商品・味の提供ができる体制を整えました。

また、プライスカット業態の業績向上のため、第2四半期までにプライスカット全店へ電子マネー及びオーカードの導入を行い、全店舗への導入を完了しております。

新規出店につきましては「那賀店」（和歌山県紀の川市）をオープンし、紀北地域のドミナントを強化いたしました。

店舗の改装につきましては、第1四半期までの「オー・ストリート紀の川井阪店」（和歌山県紀の川市）、「河内長野店」（大阪府河内長野市）、「新宮駅前店」（和歌山県新宮市）に加え、6月には「本社中島店」（和歌山県和歌山市）、8月には「ロマンシティ御坊店」（和歌山県御坊市）の改装を実施し、ベーカリー・惣菜バイキングの導入、酒類の品揃え拡大、イートインコーナーの新設など、お客様の利便性向上を図りました。

この結果、第2四半期においては前年に比べ営業日数が1日少なかったこともあり、既存客数は前年同期比98.3%でありましたが、客単価は100.8%と前年を上回りました。

連結子会社におきましては、食品スーパーの㈱ヒラマツについては、太田店を改装し活性化を図ったものの、他の既存店が苦戦し、減収減益となりました。外食の㈱オークフーズについては、競合の激化と4店舗の改装費用負担により、減収減益となりました。施設管理業務の受託を行っている㈱リテールバックオフィスサポートについては、グループ内の店舗・施設を中心に受託の拡大を進めました。

以上により、当第2四半期連結累計期間における当社グループの営業収益（売上高及び営業収入）は1,329億30百万円（前年同期比0.1%減）とほぼ前期並みではありましたが、新惣菜工場及び改装店舗の経費増もあり、営業利益は3億91百万円（前年同期比59.0%減）、経常利益は5億49百万円（前年同期比51.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は保有株式の売却益もあり、9億11百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産合計は、前連結会計年度末に比べ36億14百万円増加し、1,429億11百万円となりました。流動資産では52億80百万円の増加であり、これは主に現金及び預金が44億円増加したことによるものであります。固定資産では16億66百万円の減少であり、これは主に建物及び構築物(純額)が24億99百万円、有形固定資産の「その他(純額)」に含まれる機械装置及び運搬具が10億3百万円増加した一方、有形固定資産の「その他(純額)」に含まれる建設仮勘定が37億27百万円、投資その他の資産の「その他」に含まれる投資有価証券が15億5百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ37億92百万円増加し、650億5百万円となりました。流動負債では47億72百万円の増加であり、これは主に支払手形及び買掛金が25億86百万円、流動負債の「その他」に含まれる未払金が19億32百万円増加したことによるものであります。固定負債では9億80百万円の減少であり、資産除去債務が1億93百万円増加した一方、長期借入金も8億55百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億78百万円減少し、779億6百万円となりました。これは主に利益剰余金が3億31百万円、退職給付に係る調整累計額が1億16百万円増加した一方、その他有価証券評価差額金が6億26百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の第2四半期(累計)の業績予想につきましては、平成29年9月22日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」で修正しております。

また、通期の業績予想につきましても平成29年4月3日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,480	15,880
受取手形及び売掛金	3,068	3,485
商品及び製品	9,793	10,005
その他	2,999	3,252
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	27,339	32,620
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	48,283	50,782
土地	33,540	33,558
その他(純額)	9,959	7,196
有形固定資産合計	91,783	91,537
無形固定資産		
その他	4,365	4,255
無形固定資産合計	4,365	4,255
投資その他の資産		
その他	15,821	14,511
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	15,809	14,498
固定資産合計	111,958	110,291
資産合計	139,297	142,911
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,356	15,942
短期借入金	6,900	7,220
1年内返済予定の長期借入金	4,644	4,457
ポイント引当金	1,257	1,482
その他	13,399	15,227
流動負債合計	39,557	44,330
固定負債		
長期借入金	11,796	10,940
退職給付に係る負債	117	107
資産除去債務	2,555	2,748
その他	7,186	6,878
固定負債合計	21,655	20,675
負債合計	61,212	65,005

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,117	14,117
資本剰余金	15,023	15,023
利益剰余金	48,419	48,750
自己株式	△795	△804
株主資本合計	76,765	77,086
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,727	1,101
退職給付に係る調整累計額	△441	△324
その他の包括利益累計額合計	1,286	776
新株予約権	33	42
純資産合計	78,085	77,906
負債純資産合計	139,297	142,911

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年2月21日 至平成28年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年2月21日 至平成29年8月20日)
売上高	128,433	128,384
売上原価	96,096	95,951
売上総利益	32,336	32,433
営業収入		
不動産賃貸収入	1,711	1,673
その他の営業収入	2,891	2,871
営業収入合計	4,603	4,545
営業総利益	36,939	36,978
販売費及び一般管理費	35,984	36,587
営業利益	954	391
営業外収益		
持分法による投資利益	38	30
受取手数料	7	7
受取配当金	87	59
その他	159	128
営業外収益合計	292	226
営業外費用		
支払利息	62	56
その他	59	11
営業外費用合計	121	68
経常利益	1,125	549
特別利益		
賃貸借契約解約益	5	-
投資有価証券売却益	406	1,077
その他	6	44
特別利益合計	418	1,122
特別損失		
固定資産売却損	0	82
固定資産除却損	62	94
その他	0	13
特別損失合計	62	190
税金等調整前四半期純利益	1,481	1,480
法人税等	576	569
四半期純利益	905	911
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	905	911

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年2月21日 至平成28年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年2月21日 至平成29年8月20日)
四半期純利益	905	911
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	83	△626
退職給付に係る調整額	82	116
その他の包括利益合計	165	△509
四半期包括利益	1,071	401
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,071	401
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

従来、営業外収益「受取手数料」に計上しておりました取引先等に対する情報処理手数料及び情報提供料は、第1四半期連結会計期間より営業収入「その他の営業収入」に含めて表示しております。

この変更は、当社の小売事業に付随する情報サービスに係る業務収入の金額の重要性が増し、事業内容の見直しを実施した結果、当該事業が当社の重要な事業の一つであると位置づけられたことから、経営成績及び取引実態をより適切に表示するために変更するものであります。この結果、前第2四半期連結累計期間の連結損益計算書における営業外収益「受取手数料」201百万円を営業収入「その他の営業収入」に組み替えております。